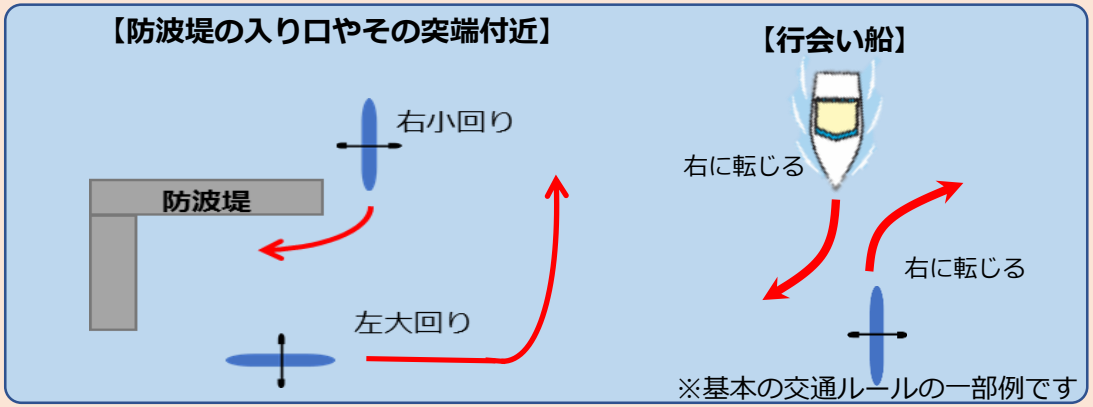
海上の交通ルール

手漕ぎのシットオン・トップカヤックは『海上衝突予防法』の船舶に該当し交通ルールが適用されます。基本的な交通ルールを学んでから海に出ましょう。
※衝突事故を防止するためには、相手船の動向を把握し早めに相手に分かり易い動作をとることが重要です。



万が一の事故に備えて自己救命策３つの基本を徹底しよう！

事故事例

一人でシットオン・トップカヤックに乗り天草西沖に魚釣りへ出たところ、風と波があったため、戻ろうとしたが、波と風の影響で岸に向かってパドルを漕いでも前に進まず帰還困難となり、１１８番通報し約１時間後に無事救助されました。

事故原因

事故当日、天草地方には、強風注意報が発令されていましたが、これぐらいなら大丈夫と過信し、出航してまったことが原因でした。



自己救命策３つの基本

- 海に落ちても沈まない **救命胴衣の着用**
- 防水パックと携帯電話を持つ **連絡手段の確保**
- もし海で事故があったら緊急電話 **118番へ救助要請**

携帯電話で緊急通報（救助要請）する場合のワンポイント！
GPS機能を「ON」にした状態で、110番（警察）、118番（海保）、119番（消防）に通報すると、発信位置をある程度の範囲まで特定できるため、早期発見、救助に繋がります。

カヌーの事故情報や安全に関する詳細情報は、二次元コードからアクセス又は『ウォーターセーフティガイド』で検索

二次元コード

問合せ先　熊本海上保安部交通課　TEL0964-52-3105

シットオン・トップカヤックを安全に楽しむために



熊本の海でも、毎年
シットオン・トップカヤック
の事故が起きています
大切な命を守るため万全の対策を！

熊　本　海　上　保　安　部
（公財）海上保安協会　熊本県支部

命を守る安全装備



シットオン・トップカヤック利用上の基本的注意事項

1.転覆しても大丈夫な様に

事前に基本的スキル（再乗艇など）を身に付ける！

2.安全を確保するために

海に出る前に装備品などの確認を！

3.海上の気象・海象は急変する

気象情報を常にチェック！

4.シットオン・トップカヤックは『船舶※』です

全員で周囲の見張りはしっかりと、早めに他船を避ける！

5.他の船舶から見えづらい

目立つ服装をする！　船の通航する場所に近づかない！

事前に遊ぶ海域の通航実態を確認する！

※裏表紙参照

特にココに注意！

ハッチを空けたままにする



ハッチ内部への浸水は、復元不可能になります。
海上では、ハッチカバーやドレンプラグをしっかり閉めましょう。

パドルを手放す



転落時などは、パドルが流出しないようしっかりと確保しましょう。

転覆しても大丈夫？

シットオン・トップカヤックは、転覆しても再乗艇が可能な構造になっていますが、技術不足などにより転覆後、再乗艇出来ずに漂流する事故が発生しています。

また、シットオン・トップカヤックは、カヌーの中では転覆しにくいと言われていますが、荷物の積み過ぎ、波の方向や大きさによっては転覆し易くなることから、安全確保のためには、十分な知識と技術の習得が重要となります。

転覆の要因例





安全に楽しむためには、十分な知識や技術が重要！

初心者は、最寄のカヌーショップや次の機関の公認スクールなどでの安全講習の受講が推奨されます。

★日本カヌー連盟（JCF）　★日本セーフティカヌーイング協会（JSCA）